

姉妹・友好都市

SISTER CITIES NEWS

ニュース

協会報

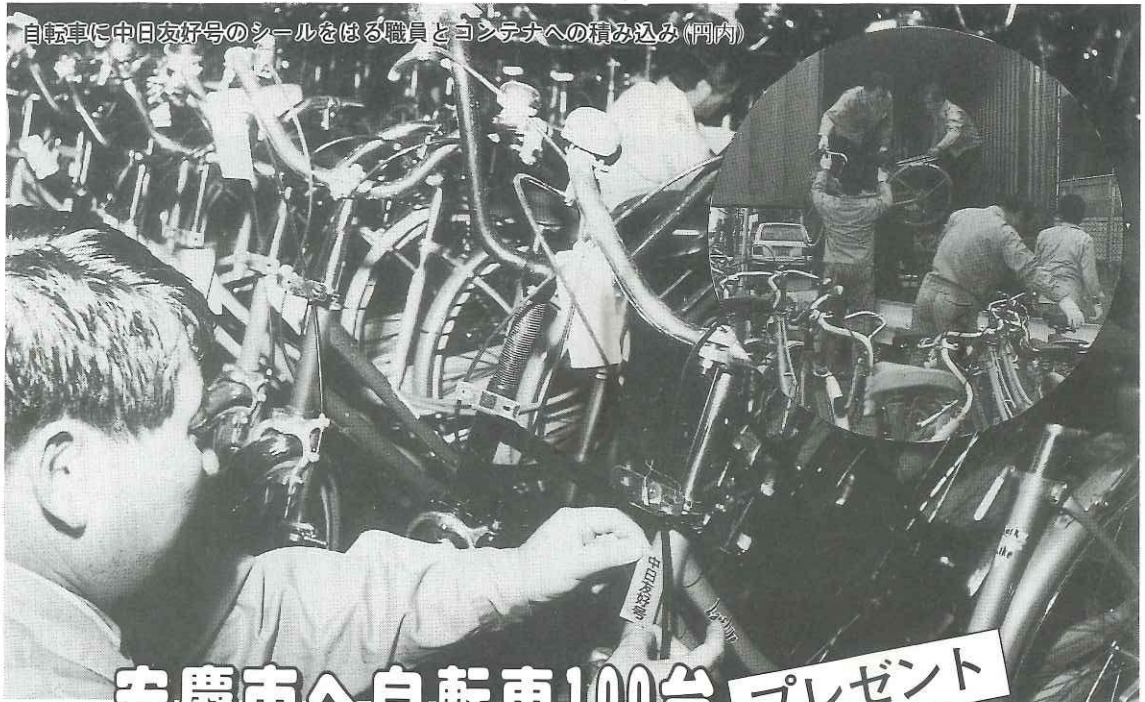
第 9 号

昭和62年12月15日発行

編集・発行

茨木市国際親善都市協会

自転車に中日友好号のシールをはる職員とコンテナへの積み込み(門内)



安慶市へ自転車100台 プレゼント

青少年のサイクリングに利用

市は、このほど友好都市安慶市に向け、リサイクル自転車100台を贈りました。

この計画は、昭和60年に安慶市と友好都市締結をした本市が、「自転車が安慶市の市民の足として使われていること、また、その自転車を買うためには3ヵ月分の給料がかかること」を知り、リサイクル自転車でも喜んでもらえるのならと計画を進めていたものです。

贈られた自転車は、JR・阪急の4駅前周辺から撤去し、保管していた放置自転車のうち、引き取り手のない自転車(年間2,000台)の中で、商品価値のある100台を選び、市が再整備したものです。

自転車を贈られた安慶市では、青少年宮に設置し、子どもたちのサイクリング用として利用することになっています。

合唱 サッカー 野球 に友情の花

深まるミ市との青少年交流

今年のミネアポリス市との交流は、6月のミネソタ少年合唱団の来茨、7月の少年サッカーチームと少年野球チームのミ市訪問など、青少年の交流を中心に展開されました。

「東京コーラスフェスティバル」の特別ゲストとして招かれ来日したミネソタ少年合唱団は、それを前に市民会館大ホールで公演を行い、賛助出演した茨木市児童合唱団とともに、澄みきった美しい歌声を聞かせてくれました。

また、少年サッカーチームは、USA杯サッカー大会への2度目の参加にして堂々3位に入賞、一方、少年野球チームは、1勝7敗の成績ながら、スポーツを通して数多くの友情を育みました。

そのほか、6月にはミ市文化交流訪問団が来茨、7月には市民親善訪問団がミ市を訪問し、旧交を温めるとともに、新しい友情の花を咲かせました。

そして、ミ市水上祭クイーンが今年も御堂筋パレードに参加し、花を添えました。

すばらしいハーモニーを披露した少年合唱団と児童合唱団



きれいなハーモニーを
もう一度

市児童合唱団 山本 道子
ミネソタ少年合唱団と合唱した
ことは、忘れることのできない

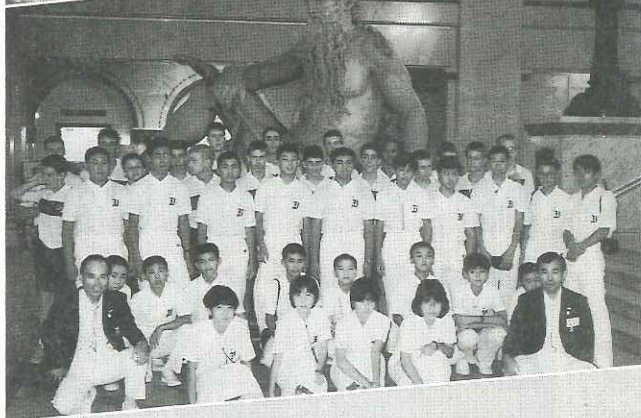


ほど私の心に残っています。
合唱団のメンバーは、口を大きく開け、声がとても澄き通っていたと思います。
いつかまた、いっしょに歌を歌って、きれいなハーモニーが出せたらうれしいです。



市民の心を魅了した少年たちの歌声

写真上から、俳画を楽しむミ市文化交流訪問団とミ市の開拓村を訪れた市民親善訪問団、市庁舎を訪れた少年野球チーム



銅メダルを胸にした少年サッカーチーム

スポーツ交流に参加して

ドーム球場での親善試合

少年野球チーム副主将 吉野 雅之



僕たち少年野球チームは、長井代表、辻本監督とともに、ホームステイをしながら軟式硬式合わせて8試合の

交流試合を行い、親善を深めました。

結果は、1勝7敗に終わりましたが、人工芝やドーム球場で野球ができたことがすばらしい思い出として残っています。

これからも、手紙を通じて、多くの友達と親善を深めていきたいと思っています。

メダルは友情のしるし

少年サッカーチーム主将 村上 誠



僕たちは、不安感と緊張感で胸をいっぱいにして、ミネアポリス市に第一歩をしりました。しかし、ホスト

チームの温かいもてなしで、すぐには生活にもなれることができました。

一方、「絶対にメダルを持って帰ろう」を合言葉に、試合に臨んだ僕たちは、第3位の成績をおさめました。そのメダルは、ずっしりと重く、今も友情のしるしとして大切にしています。



3位のカップとメダル

書画作品展でのテープカット(左上)と訪れた市民に説明をする書画団員(中央)。小豆工場(右上)と小学校を視察する安慶市代表団一行(右下)



書画作品展で実演する書画団員(左)と川端康成文学館(右上)と文化財資料館を視察する一行(右下)

中国書画に 着実に進む安慶

友好都市提携後2年目を迎えた今年の安慶市との交流は、民間交流の推進をはかることを主眼にし、5月には、その足がかりとして、初の民間訪問団である「茨木市・安慶市友好都市委員会訪中団」が安慶市を訪問しました。一行は、安慶市民との交流の輪を広げ、民間交流の礎を築きました。

7月に来茨した「安慶市書画家代表団」は、市

安慶市訪問記 私の見た四季と生活

南中学校教諭 辻野 良彦

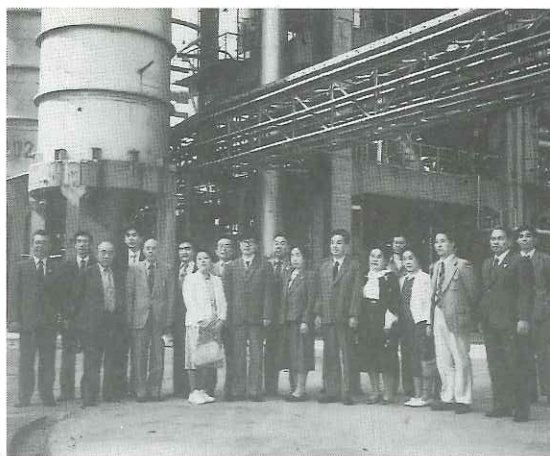


安慶の冬は意外と厳しく、寒波のやってきた日は、西北からの砂まじりの風が、全市に吹き荒れ、露地裏にまで砂塵を巻き上げます。

日本語教師として赴任した私は、宿舍安慶賓館から、教室のある安慶師範学院まで、片道2・3キロの道を、毎日3往復していました。

その途中の大通りは、風や車で、もうもうたる砂埃が容赦なく人々に降りかかり、露地伝い

に歩くと、道をまたいで高く干してある洗濯物のしずくが顔にかかったり、家々の窓や戸口から投げ捨てられるお茶がらなどを避けきれない時もあったが、賭け事に興じている老人たちや、そのまわりで遊ぶ尻割れズボンの幼児たち……その庶民的な雰囲気が私は大好きでした。また、大八車に煉炭などの荷物をうず高く積んで、喘ぎ喘ぎゆっくりと引いている人たちを小学生か中学生くらいの子どもが手伝っています。数多い公衆トイレの汲み取りも、けっこう少年少女がやっています。遠



石油コンビナートを視察した委員会訪中団一行(左)と友好訪中代表団(右)商店街を視察する委員会訪中団(中央)



市民うっとり 市との交流の輪

民会館展示ホールで「中国書画作品展」を開き、安慶市在住の書画家の作品約80点を展示・即売したほか、茨木美術協会との友好を深めました。

10月には、「安慶市中小企業経済貿易代表団」が来茨、また、「茨木市議会友好訪中代表団」と「茨木市友好訪中代表団」が安慶市を訪問し、行政レベルでの交流も活発に展開されました。



黄梅劇・曲技団員と記念撮影する友好訪中代表団



安慶師範学院で教壇に立つ辻野先生

き日の同じようなことをしていた自分の少年時代が思い出されました。

1月末から、「春節^{チェンジェ}」と呼ばれる旧正月が始まり、連日連夜、爆竹と花火の音が街々に鳴り響いていました。

また、安慶市政府が、私のために中山服チェンシャンフー(人民服)を新調してくれたので、早速、教室に着て行くと、学生たちが爆笑し、一斉に拍手して、「老師進一步中国化了」(先生は一段と中国化しましたよ)といわれました。

3月には紫金花が咲き、水辺の楊柳の新芽も日々大きくなっていきます。日本の人が植えた菱湖公園の桜は、長雨でまたたく間に散ってしまいました。可憐な路傍の草花、「他国の花」はいいものです。大通りの並木の梧桐(青桐)もどンドン葉をつけ、綿入れを脱ぎ始めた女性たちの姿とともに安慶の四季の移り変わりを感じさせてくれます。

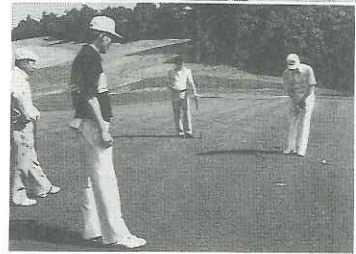
そのうちに、夏が過ぎ、秋になって芙蓉の花が咲き、落葉が風に吹かれて「階前の梧葉すでに秋声」となって行くのです。

茨木市における国際交流の足あと

——第8号以降の経過——

(1987年)

- 62.4 「姉妹・友好都市ニュース」第8号発行
- 4 協会定期総会開催(市役所大会議室)
- 5 茨木市・安慶市友好都市委員会訪中団(清野委員長ほか14人)安慶市訪問
- 5 ミネソタ日系人合同基督教会牧師大谷尚文氏と三男昇氏来茨
- 6 第4回協会ゴルフコンペ開催(茨木国際ゴルフ倶楽部)
- 6 ミ市文化交流訪問団一行13人来茨
- 6 ミネソタ少年合唱団一行43人来茨。茨木市児童合唱団の賛助出演を得て公演(市民会館大ホール)
- 7 近畿大学3回生笹川俊行君(同大学サイクリングサークル所属、南春日丘六丁目在住)中国大陸自転車走破の途中安慶市訪問
- 7 少年サッカーチーム一行21人ミ市訪問。USA杯サッカー大会で3位入賞
- 7 安慶市書画家代表团一行7人来茨。中国書画作品展開催(市民会館展示ホール)
- 7 協会理事辻野良彦氏安慶市での1年間の日本語指導を終え帰国
- 7 少年野球チーム・市民親善訪問団一行39人ミ市訪問
- 7 韓国KBS少年少女合唱団来茨。茨木フェスティバルに出演
- 8 追手門学院大学学長奥田順一氏ほか2人ミ市訪問
- 8 市立北陵中学校教諭東泉孝子さんミ市訪問
- 8 協会会員岡田優子さん(協会理事岡田資子さんの長女)ミ市訪問
- 9 大阪大学医学部助手阪上雅史氏(北春日丘四丁目在住)ミネソタ大学医学部へ研修留学(家族とともに1年間滞在予定)



市長を表敬訪問した大谷牧師父子(上)、腕を競ったゴルフ大会(下)



KBS少年少女合唱団

姉妹都市・青少年活動室にふるって

世界の国々が身近に

姉妹都市活動室会員 西津 明子



人生にすばらしい出会いがあるならば活動室との出会いでしょう。

それまで生の英語に接する機会もなく、ましてホストファミリーになるなんて考えもしなかったことです。

いろいろな国のゲストによる話に世界の国々が身近に感じられ、会員のみなさんと英語を中心に友達の輪が広がったのもうれしいことです。

◆姉妹都市活動室◆

姉妹都市活動室では、英語力および国際感覚向上のため、講演会、研究会などを原則として英語で行っています。

例会は、月2回、茨木市福祉文化会館内で開いています。

〈例会〉	木曜会	第1木曜日	10時～12時
	土曜会	第3土曜日	14時～16時
〈会費(年額)〉	正会員	1,000円(18歳以上)	
	準会員	500円(中・高校生)	

- 9 韓国・馬山青年会議所一行4人来茨
- 10 安慶市中小企業経済貿易代表团一行5人来茨
- 10 協会理事岡田資子さんミ市訪問
- 10 ミネアポリス水上祭女王とマネージャー来茨。御堂筋パレードに参加

10 **ミ市日本庭園めぐり
訪問団一行6人来茨**

- 10 ミネソタ州貿易局日本貿易マネージャー
デール・アンダース
ン氏来茨

- 10 市議会議長宮野光
雄氏ほか議員3人
全国議長会米国・
カナダ行政視察で
ミ市訪問

- 10 茨木市議会友好訪
中代表团（茂手木
議員ほか6人）と
茨木市友好訪中代
代表团（上田水道事
業管理者ほか3人）
安慶市訪問

- 11 第4回協会英語ス
ピーチ大会開催
（福祉文化会館文化ホール）



市長と握手する馬山JC会長



市長と握手する水上祭女王



ミ市市長・議長を表彰訪問した宮野議長ら



中・高生25人が 英語スピーチに挑戦

中学生・高校生を対象とした本協会主催の「第4回英語スピーチ大会」が、今年も11月3日の文化の日に、市福祉文化会館文化ホールで開かれました。

中学生14人、高校生11人の中からみごとに入賞されたみなさん〔写真〕は次のかたがたです。（敬称略）

＜中学生の部＞

- 第1位 堀真矢子（養精中学校3年）
- 第2位 上原香織（北辰中学校3年）
- 第3位 前川愛（南中学校2年）
- ジャパンタイムズ賞 木本有一（北陵中学校3年）

＜高校生の部＞

- 第1位 花房史子（茨木高校2年）
- 第2位 野村里香（茨木高校1年）
- 第3位 金子有理（高槻北高校1年）
- ジャパンタイムズ賞 田上幸子（光華高校2年）

ご参加を

◆青少年活動室◆

中・高校生が気軽に参加でき、楽しみながら英語を学ぶ「青少年活動室」を開いています。

外人ゲストを迎えて、話したり、歌ったり、ゲームをしたり、学校の授業とは一風変わった英語の勉強会です。

活動は、月1回、原則として第4日曜日の午後2時から茨木市福祉文化会館で行っています。

会費は無料、服装などは自由ですので、友達をさそって、いつからでも気軽に参加してください。



英語が苦手でも・・・

太田中学校3年 古崎 由華

初めて参加した時は、緊張のあまり、外国の方々とあまり話ができませんでしたが、回を重ねるごとに慣れて、今では楽しく話をしています。

英語の苦手な人も一度参加してみてください。一つでも得をした気分になれると思います。

いろいろな国の人の話を聞くのもなかなか楽しいことだと、私は思っています。

海外留学生に

奨学金制度

を創設

あなたも協会会員に

本協会では、このたび、国際交流推進の一環として、外国人留学生および海外への留学生に対する「留学生奨学金制度」を創設しました。

この制度は、奨学金を支給することによって、安定した修学と友好親善ならびに国際人の育成をはかることを目的とし、おおむね次の条件を満たす人に支給されます。

★外国人留学生

茨木市内の大学に正規学生として在学し、かつ、茨木市内に居住している満35歳未満の人

★海外への留学生

海外の4年制大学への正規留学生で、茨木市に住民票のある満35歳未満の本協会会員

<問合せ先>

協会事務局(市役所3階自治推進課国際交流係)
電話22-8121内線2143

本協会では、国際親善に熱意を持っておられるかたがたの入会を心からお待ちしています。

<会費(年額)>個人会員(一般) 2,000円
(学生) 1,000円

団体・法人会員 一口 5,000円

<申込先>協会事務局(市役所3階自治推進課)

寄付

本市の国際交流事業の推進のためにと、次のかたがたから温かいご寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。(4月~11月、敬称略)

<協会へ> 6月・茨木オークリオンズクラブ(30万円) <市へ> 5月・佐藤良和(100万円)、中西美津子(10万円)、8月・(宗)弁天宗冥応寺(108万円)、9月・故池上正和(200万円)

ホームステイ家庭を募集

本協会では、ミネアポリス市からの訪問者に対し、ホームステイを実施しています。

「わが家でもぜひホームステイを」と希望されるかたは、協会事務局(市役所3階自治推進課)までお申し込みください。名簿に登録し、必要な時に連絡いたします。

ただし、申込は、茨木市内の家庭に限らせていただきますのでご了承下さい。



ブランドとエリック

宿川原町 藤田 知子

ブランドとエリックが家に来るまでは、「英語がわからないからどうしよう」と思っていました。トラン



ホストファミリーとくつろぐ少年合唱団メンバー

プや花火で遊ぶうちに、話せなくてもお互いの言いたいことが通じるものだと思います。

おもしろかったのは、うどんを食べた時、すごく熱かったらしく赤ちゃんみたいに小さなお椀にとって、吹きながら食べていたことです。

しばらくして、その2人から、かわいいペットと家族の写真が入った手紙が届き、うれしくなりました。また会えたらと、思っています。